

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	階上町		代表者名	荒谷 憲輝	
担当者部署	総務課		連絡先電話番号	0178-88-2873	
担当者役職	主事	担当者氏名	向井 諒輔	連絡先E-mail	
住所	039-1201 青森県階上町大字道仏字天当平1番地87				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大木 一浩	
評価	大変よい	
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	なぜDXに取り組まなければならないのか、どのように取り組んでいけばよいのかを明確に話していただいたことがよかった。	
アドバイザーへの要望事項	特になし。	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年10月10日	支援・助言(実地)	有	令和5年9月21日	919
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年10月18日	講演（実地）	9時00分	16時00分	0:00
				活動時間（分）	360
3-2. 派遣場所	会場名	階上町役場	最寄駅	JR八戸駅	
	所在地	青森県三戸郡階上町大字道仏字天当平1番地87	最寄駅からの交通手段	タクシーor申請団体による送迎	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員（課長補佐級以下全職員）	76人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	令和4年度に「階上町DX推進計画」を策定し、町のDX推進に向けた方向性を決定した。本計画の下、具体的な取組内容及びそのスケジュールをまとめた「階上町DXアクションプラン（仮称）」の策定を予定している。各部署から、今後実施したい取組についての聞き取りを実施した。この聞き取り結果から、具体的に取組む事項及びその優先順位を決めたいと考えているが、どのような考えで進めてよいかわからず苦慮している。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	「階上町DXアクションプラン（仮称）」の策定。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	○講演…DXの本質的な意義、具体的に取り組むべき事項についての講演。BPRとデータ利活用の重要性をテーマとした。 ○ワークショップ…各職員が考える町の問題（職場の問題、町民目線の問題）を出し合い、共有した。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	1回目と2回目を通じて全職員に御講演いただき、機運醸成につながったと考える。また、ワークショップで出された意見については、今後DXを推進する上での重要な資料となると考える。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 実施なし。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

